

リツキシマブ（リツキサン[®]）

ネフローゼ症候群の中でも

難治性頻回再発型ネフローゼ症候群（既に他の免疫抑制薬を使用しているも再発の回数が多い重症のタイプ）の患者さんに使われるお薬です。

「再発の回数を減らすこと」を目的として使用します。

点滴でお薬を投与します。

ネフローゼ症候群の再発に関与している可能性のある「Bリンパ球」の数を減らす力のあるお薬です。

Bリンパ球が無くなっている間、ネフローゼ症候群の再発を抑えることができますが、Bリンパ球の数が戻ってくると再発することが多く、他の免疫抑制薬と併用して再発しないようにすることもあります。

主な副作用としては発熱、さむけ、体のかゆみ、頭痛、ほてり、血圧上昇、頻脈（脈が速くなる）、多汗（汗をたくさんかく）、発疹、白血球減少（白血球の数が減る）、血小板減少（血小板の数が減る）、肝機能障害などがあります。

特に重大な副作用として、

低血圧、肺炎、心筋梗塞、無顆粒球症、易感染性（感染にかかりやすくなる）、脳症（頭痛やけいれんをおこす）、

などがあります。

リツキサン[®]投与中の発熱や発疹、血圧低下などを予防するため、リツキサン[®]投与前に解熱鎮痛薬（熱を下げる薬）と抗ヒスタミン薬（アレルギー反応を抑える薬）を飲み、ステロイド剤の注射をします。

リツキサン[®]注射後にBリンパ球の数が少なくなっている間は抗菌薬（バクタ[®]）を内服する場合があります。

注意点

- ・リツキサン[®]を使ったあとに熱が出た場合には重症化する可能性がありますので、必ずおかかりの医療機関を受診してください。
- ・お薬を使ったあとに予防接種を希望される場合には、接種できない場合がありますので必ず主治医にご相談ください。
- ・お薬が胎児に影響を及ぼす可能性があります。妊娠の可能性がある場合には、必ず主治医にご相談ください。

現在、

頻回再発型ネフローゼ症候群（初めてネフローゼ症候群を発症してから半年以内に再発が2回以上、もしくは

は1年間に再発が4回以上で他の免疫抑制薬を使用していない場合)

難治性ステロイド抵抗性ネフローゼ症候群(既に他の免疫抑制薬を使用しているにもかかわらず尿蛋白が消えない最も重症のタイプ)

に対しての臨床試験が行われており、効果があると認められた場合には、これらの患者さんにも今後使われる可能性があります。